

小中一貫教育 ● 連載 No.26 ●

地域とともにある学校づくり
「コミュニティ・スクール導入等促進事業」



■問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-22227

5月の定例教育委員会のお知らせ

日時 5月14日(木) 13時
場所 市役所 第2委員会室 (自由に傍聴できます)
■問い合わせ 教育委員会 教育総務課 ☎75-3450

多久市教育委員会は、「地域の見守りを受け、地域から学び、地域と考える」つくる「学校」「コミュニティ・スクール」の文科省研究委嘱事業に平成27年度から2年間取り組めます。今月号では、この事業の概要を説明します。

テーマ
「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育・ふるさと教育(多久学)の推進」

①「コミュニティ・スクールの目的は?」
保護者や地域住民のさまざまな意見を学校運営に直接反映させることにより、保護者、地域住民、学校、教育委員会等の関係者が一体となって、地域に開かれ、地域に信頼される学校づくりをめざすものです。
特に多久市では、本年度開校3年目になる小中一貫校として、一貫教育の良さも連動した取り組みを工夫します。

②「コミュニティ・スクールに設置される「学校運営協議会」とは?」
教育委員会から学校運営協議会委員として任命された保護者や地域住民等が、学校の運営方針を承認したり、教育活動に意見を述べたりすることを通して、学校運営に参画することができる権限と責任を有し、学校教育に深くかかわる組織です。

④「どんな成果が期待できますか?」
保護者や地域住民の学校教育への理解が更に高まり、学校教育活動への協力体制が広がります。また、地域の諸行事への子供たちや教員の参加が増え、地域の学校としての存在感が増します。更には、子供たちの学習・生活習慣が高まるとともに不登校率が改善されたり、問題行動が減少したりします。

③「具体的な活動内容は?」

例えば、学校内に、①心育で・生活向上部、②学力向上部、③地域連携支援部等が組織されます。このことにより、保護者や地域住民が、①では、読み語りボランティア、あいさつ運動や職場体験活動を支援します。②では、放課後学習や夏休みの学習会の支援を行います。③では、清掃ボランティアや花いっぱい運動を展開します。このように学校の様々な教育実践を保護者や地域が積極的に支援する活動を行います。



▲老人クラブと中央校児童の交流(しめ縄作り)



▶天寿荘で慰問演奏する中央校吹奏楽部

多久市では、全学校が「コミュニティ・スクールの導入を行い2年間の実証研究の中で、「地域とともにある学校づくり」の定着・推進をめざします。

○管理職体制

学校名	校長	副校長	小学校教頭	中学校教頭
中央校	太田 春美	小森 尚美	原 英俊	鳥谷 功治
東部校	古賀 一哉	釘本 浩	下村 直樹	福山 信正
西溪校	田原 優子	森 博茂	田代 豊樹	中山三知子

○児童生徒数

中央校	小学部 544名	中学部 298名	計 842名
東部校	小学部 237名	中学部 129名	計 366名
西溪校	小学部 188名	中学部 110名	計 298名

体育大会

中央校(中学部) 5月31日(日)
東部校(小・中学部) 5月31日(日)
西溪校(小・中学部) 5月31日(日)

中央校の大会では小学部の出番も工夫するなど、小中一貫校としての良さをプログラムの中に設定します。

借金問題

過払い請求

広告

○サラ金からの借金を完済された方、時効前(10年)であれば、過払い請求が可能です。
○過払いの請求の場合、着手金不要(解決後、報酬金のみ)裁判までします。(印紙代等の実費は負担)

借金の相談は無料で随時受け付けます。民事・刑事の身の回りの問題もご相談ください。

営業時間 平日9:00~18:00 土曜9:00~12:00 日曜・祝日休

高崎繁行法律事務所

弁護士 高崎繁行(佐賀県弁護士会所属)

唐津市千代田町2109-17 くりはらビル1F

TEL 0955-70-0315

